論　文 　*ORIGINAL ARTICLE*

校閲用原稿提出時は，著者や所属の情報を隠すために，黄色マーカーの部分の文字やスペースは，同じ○(全角白丸)、半角文字は0(半角ゼロ数字)に置き換える。

例：緑　花子→○○○○、Research Institute→000000000000000000

学名はイタリック

校閲用原稿をエディトリアルマネージャーで提出時にpdf原稿が「原稿種別飾り文字」のデザインが変更されていないか確認する。

(1行改行，行間固定値18 ポイント)

植生基盤の硬度および…… エゾマツ(*Picea jezoensis* Carr.)の生育

(1行改行，行間固定値18 ポイント)

題目～所属が2行にまたがる場合は，きりの良いところで改行しても構わない

緑化太郎\*1)・緑　花子2)

(1行改行，行間固定値14 ポイント)

1. ○○大学大学院農学研究科　Graduate School of Agriculture, 00000 University
2. ○○植物生態研究所　 Research Institute of 00000 Plant Ecology

(1行改行，行間固定値14 ポイント)

摘要：○○用紙全体の余白：上35 mm，下30 mm，左右16 mm○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○「摘要：」や「キーワード：」という見出しはMSゴシック太字，8.5ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○摘要やキーワード本体は，8.5ポイント，行間固定値12 ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○通常号は500字以内，大会号は300字以内，1段落(改行しない)○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

キーワード：植生基盤，土壌硬度，エゾマツ，…　6語以内

(1行改行，行間固定値12 ポイント)

RYOKKA, Taro and MIDORI, Hanako: The hardness of the planting ground and … for the relationship of the growth of *Picea jezoensis* Carr.英文タイトルのみ太字にする。9ポイント，行間固定値12 ポイント

Abstract: 「Abstract:」や「Key words:」という見出しはCentury太字，8.5ポイント，行間固定値12 ポイント○○○○○○○○○○○○○AbstractやKey words本体は，Century，8.5ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○通常号は250語以内，大会号は150語以内，一段落(改行しない)○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Key words: planting ground, soil hardness, *Picea jezoensis* Carr.…　6語以内。普通名詞は小文字で始める

(1行改行，行間固定値 14ポイント)

1.　はじめに(行間を2行に設定する)

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○本文：9ポイント，27字×48行×2段組の設定○○○○○○段間4～6 mm○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○全角MS明朝，英数字・記号はCentury○○○○○○○○○句読点は「，」と「。」○○。○○○○○○○○○○○○○○本文の括弧は全角○○○。

2.　材料ならびに方法2の後，全角スペース

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2.1　供試吹付材料および供試植物　2.1の後，全角スペース

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2.1.1　供試吹付材料　2.1.1の後，全角スペース

1）主基盤材　1）の全角片括弧の後にスペースは入れない

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(この位置は天でない。図表写真を入れない)○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○筆頭著者の出典を本文に明記する場合は，著者が特定できないように記載すること○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○学名初出は命名者名も入れる○○○○○○○○○○○○○○エゾマツ(*Picea jezoensis* Carr.)○○○○○○○○○○○○以降は省略：エゾマツ，または*P. jezoensis* ○○○○○○○生物名：和文はカタカナ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

ここは1ページの「フッタ」で印刷エリアではない。ここに責任著者の住所、アドレス、仕切り線を配置しないこと。

責任著者等の情報は、上記の本文の位置に挿入する。校閲用原稿提出時に必ず確認すること。

\* 責任著者(Corresponding author)：〒000-0000　○○○○○○○○○○○○○　E-mail：00000@00000000000000

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○2）調査地点　2）の全角片括弧の後にスペースは入れない

調査は，大阪府堺市の○○○株式会社○○○○○○○農場都道府県と市郡などは必ず記述，著者情報は○に置き換える○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○長さ50 m，傾斜角約40度の法面に，○○○○○○○○○○○数字と単位の間には半角スペースを入れる○○○○○○○○ただし，º，℃，％の場合には直前に半角スペースを入れない○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。



図-1　和文表題，MS明朝，8.5ポイント，左詰め(「図-1」は太字)

Fig. 1　英文表題，Century，8.5ポイント，左詰め(「Fig. 1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして1行目のタイトル行頭に可能な限り合わせて折り返す。行間12ポイント)

(図表と本文の間を1～2行空けて区別を明確にする。)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○図・表・写真の挿入位置：天・地(ページ上・下部分)○○本文中には挿入しない○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○文献引用例○○○1, 3, 4-6)○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○図-1ハイフンあり(図1ではない)○○○○○○○○○○○表-1ハイフンあり(表1ではない)○○○○○○○○○○○写真-1ハイフンあり(写真1ではない)○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○注記は本文中に収めることとし，引用の形をとらない○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○〇

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。



写真-1　和文表題：MS明朝，8.5ポイント，左詰め(「写真-1」は太字)

Photo 1　英文表題，Century，8.5ポイント，左詰め(「Photo 1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして1行目のタイトル行頭に可能な限り合わせて折り返す。行間12ポイント)

(図表と本文の間を1～2行空けて区別を明確にする。)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を式1に示す。



　数式はセンタリングし，式番号は括弧書きで右詰めにすること。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

 (図表と本文の間を1～2行空けて区別を明確にする。)

表-1　和文表題：MS明朝，8.5ポイント，左詰め(「表-1」は太字)。表の罫線はは表の上下綴じ以外は最小限とする。

Table 1　英文表題，Century，8.5ポイント，左詰め(「Table 1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入。複数行にわたる場合は，インデントして1行目の行頭に可能な限り合わせて折り返す，行間12ポイント)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Tree ID | Tree height growth (cm) | Diameter growth (mm) |  |
| A | 17.9 | 2.3 |  |
| B | 22.5 | 3.5 |  |
| C | 31.0 | 3.6 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

(1行改行，行間1行)

謝辞：投稿時には記載せず，記載に必要な〇や0で置き換えてスペースを確保する。掲載決定後の正原稿を提出する際に記載する。「謝辞：」はMSゴシック太字。謝辞に個人名を記入する場合は、謝辞の個人が査読者として審査されないように投稿時のエディトリアルマネージャーにて個人名や所属を編集部に事前連絡すること。

引用文献

1. 中西　哲 (1977) 群落の生活型構造. 伊藤秀三編, 群落の組成と構造, 朝倉書店, pp. 193-251.
8.5ポイント，行間固定値12ポイント
著者名の1文字目と2行目以降の先頭の文字をできる限り揃える。引用文献の括弧( )、カンマ「,」、ピリオド「.」は本文と異なり半角とする。引用順ではなくアルファベット順であることに注意。
2. 日本緑化工学会編 (1990) 緑化技術用語事典. 山海堂, 280 pp.
3. 大手桂二 (1989) 山腹緑化施工地の評価手法に関する研究. 緑化工技術, 14(1): 12-20.
4. 姓名が共に2文字の場合，姓名間に全角スペースは入れない。
5. Tobias, D. J., Yoshikawa, K., Ikemoto, A. and Yamaguchi, H. (1994) Seasonal changes of leaf chlorophyll content in the crowns of several broad-leaved tree species. J. Jpn. Soc. Reveget. Tech., 20(1): 21-32.
6. 森　亘・山中典和・王　林和・吉川　賢・小笠原慎之介・五郎丸歩 (2000) 中国内蒙古毛烏素沙地における臭柏(*Sabina vulgaris* Ant.)更新場所の微環境. 日本緑化工学会誌, 25: 427-430.

和文姓名が2文字や3文字（姓1文字＋名1文字，姓1文字＋名2文字，姓2文字＋名1文字）の場合は姓名の間に全角スペースを入れる。和文姓名が4文字以上の場合，全角スペースは入れない。

1. 環境省. (更新: 2014年8月1日) “特定外来生物等一覧”. 環境省ホームページ. http://www.env.go.jp/nature/intro/
1outline/list/index.html (参照: 2014年8月8日).
2. 気象庁. “過去の気象データ検索”. 気象庁ホームページ. http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php
(参照: 2014年8月8日).

(1行改行，行間固定値12ポイント)

(2024年○月○○日受理)

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

受理年月日は，受理を通知された後，完成稿に記入。投稿時は括弧のみ記載。

最終ページは左右段の下端を揃える。(下端がきれいに揃わない場合があるため，1行のずれは問題ないこととする。)